

福島の文化財

重要文化財

絹本着色阿弥陀三尊像

▲中尊像部分



所在地 いわき市平山崎矢ノ目

所有者 如来寺

掛軸の長さ三百十八センチメートル
幅百六十二センチメートルの大幅であ
る。中尊の阿弥陀如来は身長百七十一
センチメートル。頭部には円光と八方
に放射する直光線が描かれ、両足は蓮
台をふみ、上品下生の來迎印を結び、
斜前方を向いて立っている。両脇侍は
やや中腰で、觀音菩薩は蓮台を奉り、
絹乍手弋は兼會寺比り。・後羽・圭

勢至菩薩は合掌する構図をとっている。
この種の來迎図は鎌倉時代流行のも
のであるが、図取りが大きく、構図、

形体・筆力・色調などにすぐれた技巧を

示し、表情も氣品がある。來迎図中異
例の大図で金色に光る姿は堂々たる風
格がある。

定され、保存も良い。この期の作品と
しては傑出した優品といえる。